

境界なき清掃団

平成28年5月21日 中日新聞に掲載

**稲沢東高の周辺
生徒がごみ拾い**

稲沢市の稲沢東高校の生徒が二十日、学校周辺でごみを拾う清掃活動をした。各部活動や生徒会などの有志が集まる同校の「境界なき清掃団」の取り組みで、十年ほど前から、

ボランティア部の二年八木雄大君（ひし）は

「自分ができることで、日ごろお世話になっている地域に恩返しがしたい」と話していた。

◆一宮で連続不審火
20日午前0時45分ごろ、一宮市三ツ井の釣り堀にある自動販売機が燃えているのを、通行人の男性が見つけた。2分後、南におよそ600メートル離れた医療機器メーカーの敷地内でも、自動販売機が燃えているのを通り掛かった別の男性が見つけた。通報した。ともにけが人はなかった。

一宮署は、同一犯に

この日は一〜三年の百八十七人が参加。約一時間半で学校や最寄り名鉄奥田駅周辺からごみ袋（四十五リットル）二十袋分を集めた。



学校の近くでごみを拾う生徒たち。稲沢市内で

